

□ 要請番号 (JL04518A07)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モンゴル	H114 理学療法士		個別	新規	2年	・2018/3・2018/4・ 2019/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

ウヌ・エンフ神経リハビリテーション病院

3) 任地 (ウランバートル) JICA事務所の所在地 (ウランバートル)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

2007年に設立された神経リハビリテーション(リハビリ)専門の私立病院で、ベッド35床、職員22名(内医師4名、看護師6名、理学療法士1名、その他職員11名)。年間患者数約1000名。同院は疾患の治療は行っておらず、回復初期の患者に継続的なリハビリを行うことを目的としている。患者の多くが50-60代。小児は2割弱。ほとんどの患者が入院し、理学療法、温熱療法及び伝統治療を組み合わせた治療を行っている。主な疾患は脳血管疾患(脳梗塞、脳出血)、整形外科疾患(脊髄損傷など)等。国内の神経リハビリテーション協会と連携し、定期的に地域の家庭病院医療者に対する研修を実施している。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同国では国立の医療機関での入院期間が原則10日間までという制約があり、三次医療機関における継続したリハビリの実施が困難である。そこで、回復期の継続したリハビリを行うことを目的に同院が設立され、現在理学療法士(PT)がリハビリを行っている。しかし、養成機関における実技や実習指導が十分とは言えず、患者のアセスメントや治療計画、症状に適したリハビリや、患者や家族に適切な助言、指導を行うための知識と経験が不足している。また、医師や看護師と連携したチーム医療にも課題がある。このような状況の下、同院と系列病院のリハビリの質の向上のために青年海外協力隊(JV)の要請に至った。また、同院は地域の家庭病院のスタッフに対し、基礎的なリハビリの研修を実施しており、JVには同研修への協力も期待されている。(現在同国で活動中の医療職の青年海外協力隊(JV)と連携した勉強会実施の経験あり。)

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1.同僚とともに患者に対し理学療法を実施する。(同院と系列の病院を巡回する。)
- 2.同僚に対し、患者の評価及び治療計画、個々の患者の症状に合わせたリハビリの指導をする。
- 3.同僚に対し、患者及び患者家族への指導について助言する。
- 4.同僚とともに神経リハビリテーション協会と連携し、地域の家庭病院の医療従事者(医師及び看護師)に対しリハビリ及び、家族指導方法について、助言や勉強会を行う。(2017年は9回実施実績あり。)

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

机、椅子、パソコン、インターネット、PT室、訓練用道具(平行棒、プラットホーム、歩行補助具(歩行器、4点支持杖)、起立台、バランスボール)、車椅子等

4) 配属先同僚及び活動対象者

院長(女性、50代、神経科医師)
医師3名(リハビリ、伝統治療等)
C/P理学療法士(女性、20代、経験3年)
系列病院 エピ・モン神経病院 理学療法士(女性、20代、経験1年)
地域の家庭病院の医師及び看護師
活動対象者:50～60代(8割)、小児(2割弱)、主な疾患(脳血管疾患、整形外科疾患)

5) 活動使用言語

モンゴル語

6) 生活使用言語

モンゴル語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(理学療法士)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 5年以上 備考：経験に基づいた指導が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(ステップ気候) 気温：(-30～30℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

同国では保健医療職のボランティアの分科会が定期的にセミナー等を実施しており、同会での連携活動も期待される。